

文部科学省「令和3年度 大学の世界展開力強化事業」採択事業

A³I : アジア実問題解決駆動 AI 教育プログラム

2025年 春・秋 中長期留学 募集要項

1. A³I : アジア実問題解決駆動 AI 教育プログラム とは

文部科学省「令和3年度 大学の世界展開力強化事業」に採択された「A³I = Asia Applied Artificial Intelligence : アジア実問題解決駆動 AI 教育プログラム」は、山梨大学、杭州電子科技大学(中国)、釜慶大学校(韓国)、マレーシア・ペルリス大学(マレーシア)の4大学がコンソーシアムを組み、各大学の AI 研究・教育の強み、産業界との連携ネットワーク、地域の実践フィールドを活用することで、アジア諸国との架け橋となり、Society5.0 や DX を牽引する AI 人材を育成するプログラムです。

また、このプログラムの中にある杭州電子科技大学、釜慶大学校、マレーシア・ペルリス大学のいずれか1つの大学とのデュアル・ディグリープログラムに参加・修了することで、2つの大学（山梨大学+1）より学位を取得できます。

2. 本プログラムにおけるデュアル・ディグリープログラムとは

このプログラムでは①修士デュアル・ディグリープログラム ②博士デュアル・ディグリープログラムの2種類があります。デュアル・ディグリープログラムに参加すると、協定校にて取得した単位の一部を在籍大学の単位として認定することができ、2つの大学の学位を得ることができます。

留学先の協定大学の入学料、授業料、検定料を納める必要はありません、ただし本学の授業料は納める必要があります（留学期間は5【留学期間・時期】参照）。

留学先大学での学位取得には、留学先大学の卒業要件を満たす必要があります。

3. 対象となる協定校（コース）

国名	大学名	コース	
中国	杭州電子科技大学	Graduate School	School of Computer Science
韓国	釜慶大学校	Graduate School	Department of Artificial Intelligence Convergence
			Department of Intelligent Robot Engineering
マレーシア	マレーシア・ペルリス大学	Master of Science & Doctor of Philosophy	All Engineering Courses

4. 応募資格

・次の3つの要件を満たす方が応募できます。

①2024, 2025年度に本学の大学院生で、下記のいずれかを専攻する者

医工農学総合教育部	修士課程	工学専攻
	博士課程	工学専攻

②AI分野の研究をするための基礎が身に付いている者

③原則として、下記いずれかの語学要件を満たす者

・TOEIC 600

- ・IELTS 5.5
- ・TOFEL 72

5. 留学期間・時期

2025年2月～2025年10月に開始する留学が対象です。

杭州電子科技大學 (HDU)	春学期	2025年2月～2025年6月(4ヵ月)
	秋学期	2025年9月～2026年1月(4ヵ月)
釜慶大學校 (PKNU)	春学期	2025年3月～2025年6月(4ヵ月)
	秋学期	2025年9月～2025年12月(4ヵ月)
マレーシア・ペリリス大學 (UniMAP)	研究モードのため、年間を通じて申請を受付けます。	

6. 募集人数

杭州電子科技大學	若干名
釜慶大學校	若干名
マレーシア・ペリリス大學	若干名

7. 申請期限

- ・2024年10月31日(木) (春季)
- ・2025年4月30日(水) (秋季)

※マレーシア・ペリリス大學での留学を希望する者は、奨学金受給及びビザ取得の都合上出発の5か月前までに申し出るようにしてください。

8. 応募書類

以下の書類を揃え、各大學の申請期限までにグローバル推進課に提出してください。

- ① 中長期留学 申請書 (様式1)
- ② 中長期留学 志望動機 (様式2) 英語
- ③ 指導教員からの推薦書 (様式3) 英語
- ④ 誓約書 (様式4)
- ⑤ 緊急医療措置同意書 (様式5)
- ⑥ 語学能力を証明する書類 (写)
- ⑦ 成績証明書 日本語1部・英語1部
- ⑧ 健康診断書 日本語1部・英語1部

※釜慶大學校を希望する場合、釜慶大學校に提出する書類や提出時期については、工学域支援課教務グループから別途お知らせします。

※ペリリス大學を希望する場合には、以下の書類も必要となりますので、準備しておいてください。提出時期については別途お知らせします。

- 在学証明書 英語 1部

※2025年より、語学証明書を申請の際に提出していただくほか、プログラム終了後にも新たな語学証明書の提出が必要となります。

9. 選考

- ・学内の関連委員会にて学内選考を行います。
- ・学内選考により、派遣が決定次第、留学手続きを開始します。
- ・ただし、本学の学内選考に合格しても、以下の場合は派遣を取り消すことがあります。
 - ① 留学希望大学等の入学許可が得られなかった場合
 - ② 留学開始時期（留学先大学により異なる）に応募条件を満たしていない場合
 - ③ 健康を害し留学が困難となった場合
 - ④ 留学希望大学等の募集人員が減った場合
 - ⑤ 交換留学誓約書【様式 4】に記載された事項を守れない場合
 - ⑥ その他、留学が適当でないと認められる場合

10. 経費

- ・留学先の協定大学の入学料、授業料、検定料は納める必要はありません。（本学の授業料は納付する必要がありますのでご注意ください。）
- ・渡航費については文部科学省の予算により補助の予定です。
- ・その他、教材費、宿泊費、生活費等、留学に要する全ての経費は、学生本人の負担です。
- ・奨学金の申請が可能です。
- ・海外旅行保険については、「学生教育研究災害傷害保険付帯海外留学保険」への加入を必須としています。（参照：「14. 海外旅行保険」）
- ・海外安全危険管理サービス「OSSMA（オスマ）」の加入を必須としています。

11. 奨学金

受給要件を満たした場合、下記のいずれかの奨学金を申請することができます。ただし、支援金の総額が決まっていますので、希望者多数の場合は成績と家計基準を勘案して選考します。また、支援金額は都合により変動する可能性があります。

名称	対象・要件	問合せ先	申込方法	備考欄
JASSO（日本学生支援機構） 『海外留学支援制度(協定派遣)』	成績基準、 家計基準あり	グローバル 推進課	留学申請書に 希望の有無を記入	給付型のため、返済は不要です。別途手続き必要のため、希望者にはグローバル推進課から連絡します。6-7万/月（派遣国による）
秋山勝彦グローバル人材育成奨学支援金	成績基準あり	工学域支 援課	工学域支援課	6か月未満：8万/回 6か月以上：20万/回 （前後期各1名）
山梨大学海外応援プログラム	成績基準あり	グローバル 推進課	各学域へ申し込み	6か月未満：（アジア）5万/回 6か月以上：10万/回

※申請状況・予算の状況により、必ずしも受給できるとは限りません。

12. 大学寮

プログラム参加者は大学の寮に居住することができます。（各大学の状況により、寮費が自己負担の場合があります。詳細はお問い合わせください）

※昨年度の例では、PKNUの寮費は毎月45,000円程度（毎日3食を含む）。

13. ビザ

・渡航前に、日本でビザの申請を行う必要があります。ビザの申請・取得については各自で渡航先の国の駐日大使館（領事館）に申請方法や予約方法などを確認して、行って下さい。ビザ申請からビザ取得まで、一般的にはおよそ2～3か月かかります。マレーシアの場合、4～5か月かかります。

・また、渡航先によって、追加で必要となる書類が発生することがあります。

14. 海外旅行保険

・交換留学生は渡航先へ入国する際に、有事の際の医療救助や帰国に伴う費用等を補償するための、適切な補償期間・補償内容の保険に加入することが義務付けられています。本学が指定する「学生教育研究災害傷害保険付帯海外留学保険」にてカバーすることが可能ですので、加入してください。

15. 履修計画

・留学決定後、単位認定方法・スケジュールについては、工学域支援課教務グループより派遣者へ連絡します。

・各大学により、学位取得条件や単位認定要件が異なりますので、詳しくは別添の一覧をご覧ください。

16. 危機管理

・危機管理や事前準備に関する研修として、全学共通教育科目・人間形成科目の集中講義「海外で学ぼうー海外研修・交換留学 gateway I 又は II」を聴講していただきます。

・留学中は月1回の「マンスリーレポート」の提出が必須です。

17. プログラムの中止・中断

不測の事態等による派遣の中止・中断 交換留学への参加を辞退する場合、またはテロ・自然災害、感染症・疫病の流行等の不測の事態が発生し、大学の判断で派遣を中止・中断する場合は、理由を問わず、派遣前・後に発生した一切の費用（キャンセル料や、中断の場合の帰国旅費を含む）は参加学生個人が負担し、大学には請求できません。

18. この留学に関する問い合わせ

（教務に関すること）工学域支援課（A-2号館2階）教務グループ 開室時間 8時30分～17時15分

電話番号：055-220-8734

（留学手続きに関すること）グローバル推進課（B-1号館2階 225） 開室時間 8時30分～17時15分

電話番号：055-220-8703

メールアドレス：a3i-as@yamanashi.ac.jp

A3I ホームページ：<https://a3i.yamanashi.ac.jp/>



19. 留学先大学の紹介

杭州電子科技大學 Hangzhou Dianzi University (HDU)〔中国 浙江省 杭州市〕

杭州電子科技大學は、1956年に中国浙江省の杭州市に設立され、2015年4月に浙江省重点大學に選ばれた公立大學です。学部では57、大学院では70のプログラムを提供しており、28,000人の學生が學んでいます。理学・工学・管理學・文學・法學・教育學等の多くの學科を総合的に發展させている研究型大學として高い評価を得ており、特に電子情報分野においては、常に中国国内で高いランキングに入っています。

大學ホームページ：<http://www.hdu.edu.cn/>

學年曆（参考）：<https://jwc.hdu.edu.cn/xlyjcap/list.htm>

留學に関して：<http://sie.hdu.edu.cn/>

釜慶大學校 Pukyong National University(PKNU)〔大韓民國 釜山広域市〕

釜慶大學校は4つのキャンパスに25,000人の學生を擁する韓國の大規模大學です。61カ国376大學と覺書を締結しており、最近の5年間で1,371人の學生を派遣、841人の學生を姉妹校から受け入れています。ユンダンキャンパスは、2015年度から企業に全面開放されて、「ドラゴンバレー・キャンパス」と呼ばれ、AI、IoT、ヘルスケア分野に特化した341社が居住する韓國東南部地域の産學連携拠点として注目されています。

大學ホームページ：<https://www.pknu.ac.kr/eng>

A³I ホームページ：<http://a3i.pknu.ac.kr/eng/>

學年曆（参考）：<https://www.pknu.ac.kr/eng/17>

留學に関して：<http://admission.pknu.ac.kr/>

マレーシア・ペルリス大學 Universiti Malaysia Perlis(UniMAP)〔マレーシア ペルリス州 カンガース市〕

マレーシア・ペルリス大學は、2001年に、マレーシアで17番目の公立高等教育機関として設立されました。地域を代表する工学系の大學として、特にエレクトロニクスとインダストリー4.0、AIの教育に重点をおき、地域の電子およびITの發展を牽引してきました。マレーシア・ペルリス大學には山梨大學で學位を取得したOB・OG計6名がAIおよびロボティクス分野の教員として活躍しています。

大學ホームページ：<https://www.unimap.edu.my/index.php/en/>

A³I ホームページ：<https://a3i.unimap.edu.my>

學年曆（参考）：<https://www.unimap.edu.my/index.php/en/campus-life/reference/academic-calendar>

A3I 修士デュアルディグリーの取得条件

①山梨大学の単位要件を満たす
②長期留学に参加し、派遣先大学の単位要件を満たす
③山梨大学と派遣先大学の両方に修士論文を提出する
④派遣先大学でpublicationが要件となっている場合には、学術誌か国際会議で発表する
⑤推奨事項：全4ヵ国でのプログラムに参加する（他の2ヵ国で行われるショートプログラムやサマースクールに参加する）

各大学の状況		
大学	履修する科目	所用年数
HDU	全8～10科目（25単位） ・ AI分野 [5科目(12単位)] ・ 修士論文 ・ 研究 ・ 共通科目 [5科目 (13単位)]	3年3か月
PKNU	全4科目×3単位=12単位 科目：・ AI分野 [2科目] ・ 修士論文 [1科目] ・ 研究 [1科目]	2年
Unimap	修士学生については 「研究モード」	2年

派遣先大学の学位取得条件の詳細については、留学開始後に派遣先大学によく確認するようにしてください。

A3I 修士デュアルディグリーの取得条件（単位修得部分以外）

	杭州電子科技大学HDU	釜慶大学校PKNU	マレーシア・ペルリスUnimap
修士論文	UYとHDUに提出・発表	UYとPKNUに提出・発表（修士2年11月までに提出）	UYとUniMAPに提出・発表
	MOAによる修士論文に関する規程：home, host大学それぞれ1本の修士論文を提出し、同じ内容のものを両大学出すことが可能。ただし、各大学の修士論文の要件に満たすこと。 各大学の修士論文の要件については、host大学の教職員と確認をすること		
研究成果	第一著者（HDUを第一所属機関として）の学術誌論文掲載或は国際学会発表（IEEE コンファレンス）、特許取得などの研究成果	①論文のpublicationを出す。②publicationがない場合、PKNUで履修した科目の試験を受験し、 publication の免除を受ける。※publicationを出す場合、留学後翌年（修士2年）9月までに第一著者として国内または海外の学会または学術誌に論文を。	修士論文提出前に10ポイントのパブリケーションが必須。ポイントの計算方法は下表に参照。
host大学での在留期間	1学期（5ヶ月）	1学期（4ヶ月）	1学期（4ヶ月）（マレーシア高等教育省MOHEより6ヶ月の在留期間を要求されていますが、就職活動の観点からUniMAPが最低限4ヶ月の在留期間を要求し、残りの2ヶ月分について、オンラインミーティング、ディスカッションなどの研究活動の時間を計算する。在留時間を計算するため、研究活動に関わる日誌やレポートの提出が必要となる。）

8.3 Publication Requirements

8.3.1 Students enrolled prior to October 2022 must publish their research works before submitting their thesis. For MSc student, the cumulative point of publication is 5 points while for PhD student is 10 points which consists of types of publication according to the scoring system as given in Table 4.

Table 4: Scoring system according to types of publication

Types of Publication	Impact Factor	Point
Journal		
ISI	≥ 0.50	15
ISI	< 0.50	10
Scopus		8
International (refereed)		4
Others (refereed)		2
Proceeding		
Scopus		4
International (refereed)		2
Others (refereed)		1

派遣先大学の学位取得条件の詳細については、留学開始後に派遣先大学によく確認するようにしてください。

